

「オオヨドカワゴロモ」保護のため河川清掃活動を実施

1月21日、平成28年3月に国指定天然記念物に指定された「オオヨドカワゴロモ」の自生地である岩瀬川の清掃活動を行いました。この活動は、22年前から取り組んでおり、今年も土木関係者や市民ら62人が参加。参加者は、オオヨドカワゴロモの生態や表面のゴミのとり方を学びながら清掃しました。



ほうきやブラシを使って、オオヨドカワゴロモの表面をこする参加者。滑りやすい足場に気を付けながら清掃を行いました



研修会には、医療関係者や一般市民の209人が参加。ユーモアを交え、西諸地域の在宅医療の実情などを訴えていました

「在宅医療の充実のために」宮崎大学教授の講演会を開催

1月18日、西諸地域在宅医療推進研修会が文化会館で行われました。一般社団法人西諸医師会が、在宅医療の推進と在宅医療従事者の多職種連携を図ることを目的に開催。宮崎大学医学部の吉村学教授が登壇し、「西諸地域の在宅医療充実のために今からできること」について講演しました。

在宅医療介護の連携目指し、全国事例から学ぶ講演会開催

12月10日、ガーデンベルズ小林で在宅医療介護連携講演会が行われました。西諸の在宅医療介護の連携を推進することが目的。一般社団法人鶴岡地区医師会の三原一郎氏、遠藤貴恵氏が登壇し、在宅医療介護連携の取組、連携におけるメリットなどについて、理解を深めました。



講演会は、西諸地域在宅医療介護連携推進協議会が開催。医療・介護・行政関係者など約150人が参加しました



民生委員・児童委員の皆さん。これから3年間、住民の相談相手、行政とのパイプ役などとして地域福祉のために尽力いただきます

地域福祉の大きな推進力 民生・児童委員121人委嘱

12月1日、民生委員・児童委員（主任児童委員）の一斉改選が行われ、委嘱状伝達式が行われました。新たな委員30人を含む、121人に厚生労働大臣から委嘱状を交付。民生委員・児童委員協議会吉脇辰男会長は「地域住民の福祉向上のために、誠意を持って活動しましょう」とあいさつしました。

取り組みを紹介します

きずな協働体 今月は、細野地区

まち協の活動をSNSなどで情報発信

細野まちづくり協議会の活動や伝統行事、学校行事などを広く知ってもらうため、広報紙「さくら通信」を発行しています。設立当初からなるべく毎月発行することを心がけ、平成29年2月号で第20号となりました。さくら通信は、細野地区を中心に区長さんを通じて回覧しており、ホームページでも見ることができます。また、昨年6月にはフェ

イスブックのページも開設。SNSなどを活用して、地域の交流人口増加のために情報発信をしています。昨年11月に霧島岑神社で開催した古事記神話イベント「古の誘い」や今年1月8日に開催した「細野どんど焼き」でも市内外から多くの方が細野地区を訪れてくれました。これからも地域の情報をいち早くお届けしていきます。



1月8日には「どんど焼き」を行いました

「さくら通信」へ掲載する情報を募集中です。フェイスブックへの投稿もお待ちしております。



細野まちづくり協議会事務局 西田 恵理子さん

「周囲の理解と声掛けの工夫が大切」丹野智文さんが講演

12月13日、認知症研修会が文化会館で開催されました。約3年前に39歳の若さで若年性認知症を発症し、現在も認知症発症前からの職場で仕事を続けながら全国各地で講演活動を行っている丹野智文さんが登壇。若くして認知症と診断されてからの心の葛藤を交えて、講演を行いました。



丹野さんは、「誰でも発症する可能性がある。家族や職場などの周囲の理解や声掛けの工夫が大切」と強く訴えていました



参加者は、多数傷病者が出たときに、患者の緊急度などによって治療や搬送の優先順位を決める「トリアージ」などを学びました

大規模事故や災害に備えて 多数傷病者対応研修会を実施

12月17日、多数傷病者対応研修会が消防本部で行われました。消防署職員や市内で勤務する看護師20人が参加。鹿児島県の米盛病院副院長富岡譲二さん、救急調整室室長古賀司さんを講師に招き、多くの傷病者が発生したとき、救える命を守るための知識や技術を学びました。

チャリティダンスの益金を寄附

12月22日、小林商工会議所女性部が、同3日に開催されたチャリティダンスパーティーの益金の一部を市に寄付しました。同部会の川子カズエさんは「市のさまざまな事業に活用し、大切に使ってほしいです」と話していました。



体育振興を願い、市内3高校に寄付

12月19日、小林市区長会が体育振興のために市内3高校（小林高校、小林秀峰高校、小林西高校）へ寄付を行いました。倉田富夫会長は「区・組加入世帯の協力によるもの。高校体育の強化に役立ててほしい」と話していました。



火災ゼロを願い「消防出初式」開催

1月8日、新春恒例の消防出初式が中央公民館で行われました。西諸広域消防本部の職員や消防団員など約500人が参加。消防功労者への表彰などが行われ、団員らは新年を迎え気持ちを新たに火災ゼロや地域の安全を誓いました。



市内外243人が山麓路を快走

1月3日、新春山麓路ロードレース大会が開催されました。山麓ランニングクラブ主催で毎年開催され、今年で42回目。北西方の入佐公園を出発し、1キロから5キロのコースを小学生から一般までの243人が駆け抜け、健脚を競い合いました。



昭和47年卒同窓会が母校3校へ寄付

1月13日、昭和47年度小林中卒還暦同窓会が、小林中学校、小林小学校、南小学校に寄付をしました。平成28年度に同窓会を発足し、147人が寄付に協力。崎山和夫実行委員長は、「子どもたちのために使ってほしい」とあいさつしました。



市内中学校へ図書524冊を寄贈

1月11日、小林こすもすライオンズクラブが、団体結成25周年を記念して、市内中学校に図書を524冊寄贈しました。今井悠二会長は、「中学生の教育につなげてほしい」とあいさつ。図書は市内9校に配布され、生徒たちの読書推進に活用されます。



「人権啓発・男女共同参画講演会」開催

1月21日、人権啓発・男女共同参画講演会を文化会館で行いました。人権問題などを一人芝居で伝える福永宅司さんが登壇。不登校の中学生が主人公の「15歳学校Ⅳ」を演じ、「地域で子どもを救って行かなければ」と訴えていました。



市内2小学校で租税教室を実施

租税教室を紙屋小学校と南小学校で行いました。市役所税務課職員らがアニメやクイズで税の仕組みを解説。クイズではこすももも登場し、児童らは、暮らしの中で税金がどのように使われているのかを楽しみながら学びました。

